

別紙 変更事項の内容

○ 計画本体

3 構造改革特別区域の範囲

変更前	変更後
奥州市の区域の一部（江刺区、胆沢区、衣川区）	奥州市の区域の一部（ <u>水沢区</u> 、江刺区、胆沢区及び衣川区）

4 構造改革特別区域の特性

変更前	変更後
<p>(1) 位置及び地勢</p> <p>本市は、岩手県内陸南部に位置し、北は北上市・西和賀町・金ヶ崎町・花巻市、南は一関市・平泉町、東は遠野市・住田町、西は秋田県に接している。</p> <p>総面積は、<u>993.35 km²</u>で、東西に約<u>57km</u>、南北に約<u>37km</u>の広がりがある。</p> <p>市の中央を一級河川・北上川が流れており、その西側には北上川の支流である胆沢川によって開かれた胆沢扇状地が広がり、水と緑に囲まれた散居のたたずまいが広がっている。</p> <p>奥州市最高峰の焼石岳(<u>1,548m</u>)を主峰とする西部地域の焼石連峰は、ブナの原生林が多く残されているほか、北上川東部には、北上山地につながる田園地帯が広がり、その東端部には、かの宮沢賢治がこよなく愛したといわれる種山高原、阿原山高原が連なるなど、市全域が緑のあふれる豊かな自然に恵まれている。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(4) 産 業</p>	<p>(1) 位置及び地勢</p> <p>本市は、岩手県内陸南部に位置し、北は北上市・西和賀町・金ヶ崎町・花巻市、南は一関市・平泉町、東は遠野市・住田町、西は秋田県に接している。</p> <p>総面積は、<u>993.35 平方キロメートル</u>で、東西に約<u>57 キロメートル</u>、南北に約<u>37 キロメートル</u>の広がりがある。</p> <p>市の中央を一級河川・北上川が流れており、その西側には北上川の支流である胆沢川によって開かれた胆沢扇状地が広がり、水と緑に囲まれた散居のたたずまいが広がっている。</p> <p>奥州市最高峰の焼石岳(<u>1,548 メートル</u>)を主峰とする西部地域の焼石連峰は、ブナの原生林が多く残されているほか、北上川東部には、北上山地につながる田園地帯が広がり、その東端部には、かの宮沢賢治がこよなく愛したといわれる種山高原、阿原山高原が連なるなど、市全域が緑のあふれる豊かな自然に恵まれている。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(4) 産 業</p>

<p>産業別就業人口は、かつては水稻を中心とする第1次産業が中心であったが、近年の米価格の低迷や農業従事者の高齢化、圃場整備等による農地の集約化などから第1次産業従事者が減少し、<u>第2次</u>、<u>第3次</u>産業従事者の割合が増加している。</p> <p>(以下省略)</p>	<p>産業別就業人口は、かつては水稻を中心とする第1次産業が中心であったが、近年の米価格の低迷や農業従事者の高齢化、圃場整備等による農地の集約化などから第1次産業従事者が減少し、第3次産業従事者の割合が増加している。</p> <p>(以下省略)</p>
--	--

5 構造改革特別区域計画の意義

変更前	変更後
<p>(1) 米文化の伝承</p> <p>本市の農業は、肥沃な土地と豊かな水を活用した稲作に加え、前沢牛や江刺りんごに代表される畜産や果樹、野菜等による複合経営で成り立っている。</p> <p>特に、米は本市の基幹的な作物であるが、近年の米の生産調整の強化や米価格の低迷により先行きの不安が生じているほか、過疎化や高齢化の進行も伴い、耕作面積の減少が進んでいる。</p> <p>古くからこの地方では稲作により米を作り、米の生産で出来た副産物の稲藁を牛の敷き藁やえさに活用し、さらにその牛の糞や籾殻を畑作の堆肥として利用してきた。全ては稲を中心に形成されており、米はご飯だけでなく、もちや酒等に形を変え、市民の生活の中に息づいている。市内には<u>水沢区と前沢区</u>に今でも<u>2軒</u>の酒造会社があり地酒づくりを営んでいる。しかし、近年日本酒離れが進んでおり、日本酒も米と同様に年々消費量が減少してきている。</p> <p>(中略)</p> <p>(2) 地産地消の推進と農業の活性化</p>	<p>(1) 米文化の伝承</p> <p>本市の農業は、肥沃な土地と豊かな水を活用した稲作に加え、前沢牛や江刺りんごに代表される畜産や果樹、野菜等による複合経営で成り立っている。</p> <p>特に、米は本市の基幹的な作物であるが、近年の米の生産調整の強化や米価格の低迷により先行きの不安が生じているほか、過疎化や高齢化の進行も伴い、耕作面積の減少が進んでいる。</p> <p>古くからこの地方では稲作により米を作り、米の生産で出来た副産物の稲藁を牛の敷き藁やえさに活用し、さらにその牛の糞や籾殻を畑作の堆肥として利用してきた。全ては稲を中心に形成されており、米はご飯だけでなく、もちや酒等に形を変え、市民の生活の中に息づいている。市内には<u>前沢区</u>に<u>1軒</u>の酒造会社があり地酒づくりを営んでいる。しかし、近年日本酒離れが進んでおり、日本酒も米と同様に年々消費量が減少してきている。</p> <p>(中略)</p> <p>(2) 地産地消の推進と農業の活性化</p>

<p>奥州市では 360 軒の農家が奥州グリーンツーリズム協議会を組織し、年間 2,000 人を超える中高生を受け入れており、今後もその数は増加の傾向にある他、研修を終えた中高生が家族を連れて再度宿泊するなどの交流が進められている。また、市内には 35 軒の産直施設や 2 軒の農家レストランが存在し、地元でとれた安心・安全な食材提供を実践している。</p> <p>このような取り組みに加えて、「特定農業者による濁酒の製造事業」を市内の民宿等で行い、郷土の文化を意識した心温まるもてなしを提供することによって、都市住民との交流をさらに活発化し、交流人口の増加と地域の活性化を図っていく。特に、平泉世界遺産指定に向けてコアゾーンのある奥州市においては、藤原時代から伝わる食事のひとつとして、濁酒を観光客へ提供していく。</p>	<p>奥州市では 360 軒の農家が奥州グリーンツーリズム協議会を組織し、年間 2,000 人を超える中高生を受け入れており、今後もその数は増加の傾向にある他、研修を終えた中高生が家族を連れて再度宿泊するなどの交流が進められている。また、市内には 35 軒の産直施設や 2 軒の農家レストランが存在し、地元でとれた安心・安全な食材提供を実践している。</p> <p>このような取り組みに加えて、「特定農業者による特定酒類の製造事業」を市内の民宿等で行い、郷土の文化を意識した心温まるもてなしを提供することによって、都市住民との交流をさらに活発化し、交流人口の増加と地域の活性化を図っていく。特に、平泉世界遺産指定に向けてコアゾーンのある奥州市においては、藤原時代から伝わる食事のひとつとして、濁酒を観光客へ提供していく。</p>
--	--

6 構造改革特別区域計画の目標

変更前	変更後
<p>(1) 江刺金札米、岩手ふるさと米、日本酒の消費拡大</p> <p>奥州市の基幹産業である米の消費拡大を図っていくため、既存の酒造会社が存在する水沢区、前沢区に加えて、特区認定区域となる江刺区、胆沢区、衣川区における濁酒製造を連携させ、地元産米でつくる濁酒（酒造会社の場合は清酒又はその他の醸造酒）の宣伝を平泉世界文化遺産登録と併せて進め、日本酒文化の継承を図っていく。</p>	<p>(1) 江刺金札米、岩手ふるさと米、日本酒の消費拡大</p> <p>奥州市の基幹産業である米の消費拡大を図っていくため、既存の酒造会社が存在する前沢区に加えて、特区認定区域となる水沢区、江刺区、胆沢区及び衣川区における濁酒製造を連携させ、地元産米でつくる濁酒（酒造会社の場合は清酒又はその他の醸造酒）の宣伝を平泉世界文化遺産登録と併せて進め、日本酒文化の継承を図っていく。</p>

<p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(2) 都市との交流、地産地消の推進</p> <p>奥州市には前沢牛やえさし藤原の郷、正法寺、温泉施設等の観光物産資源はあるものの、旅行者の多くは通過型であり宿泊客数は停滞している。</p> <p>都市住民との交流の中心である<u>グリーンツーリズム</u>は増加傾向にあるものの、市内の旅館やホテル関係の宿泊者は伸び悩みの状況にある。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(3) 活力ある農村の育成</p> <p>民宿等を経営する者で特区を活用した濁酒の製造、提供を行う意思はあるが、農業者でない場合には、新たに原料となる米の作付けを行う農地が必要となる。このため、市が就農支援を行うとともに、現在遊休農地となっている農地を作付け場所として提供することで、地域内の遊休農地の減少を図っていく。</p> <p>また、今まで5月から9月にかけて中高校生の修学旅行を中心に実施してきたグリーンツーリズムに、「特定農業者による濁酒の製造事業」による新たな魅力を加え、10月から3月にかけて一般向けの受入を実施することにより農村地域の活性化を図る。</p>	<p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(2) 都市との交流、地産地消の推進</p> <p>奥州市には前沢牛やえさし藤原の郷、正法寺、温泉施設等の観光物産資源はあるものの、旅行者の多くは通過型であり宿泊客数は停滞している。</p> <p>都市住民との交流の中心である<u>グリーンツーリズム</u>は増加傾向にあるものの、市内の旅館やホテル関係の宿泊者は伸び悩みの状況にある。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(3) 活力ある農村の育成</p> <p>民宿等を経営する者で特区を活用した濁酒の製造、提供を行う意思はあるが、農業者でない場合には、新たに原料となる米の作付けを行う農地が必要となる。このため、市が就農支援を行うとともに、現在遊休農地となっている農地を作付け場所として提供することで、地域内の遊休農地の減少を図っていく。</p> <p>また、今まで5月から9月にかけて中高校生の修学旅行を中心に実施してきたグリーンツーリズムに、「特定農業者による特定酒類の製造事業」による新たな魅力を加え、10月から3月にかけて一般向けの受入を実施することにより農村地域の活性化を図る。</p>
--	--

7 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

変更前	変更後
<p>(1) 観光資源としての経済的効果</p> <p><u>水沢区</u>と前沢区の酒造会社では日本酒の製造を行っているが、近年はビール</p>	<p>(1) 観光資源としての経済的効果</p> <p>前沢区の酒造会社では日本酒の製造を行っているが、近年はビールや焼酎に</p>

<p>や焼酎に押され、地元においても消費が伸び悩んでいる状況である。</p> <p>今回の<u>衣川区、胆沢区、江刺区</u>における特区計画の実施は、「地元の米と水だけで安心安全な食品を作り消費する」という古くからこの地に伝わる地産地消の文化を思い起こすきっかけとなり、同時に地元に残る酒造会社の再認識につながると考える。</p> <p>(以下省略)</p>	<p>押され、地元においても消費が伸び悩んでいる状況である。</p> <p>今回の<u>水沢区、江刺区、胆沢区及び衣川区</u>における特区計画の実施は、「地元の米と水だけで安心安全な食品を作り消費する」という古くからこの地に伝わる地産地消の文化を思い起こすきっかけとなり、同時に地元に残る酒造会社の再認識につながると考える。</p> <p>(以下省略)</p>
--	---

8 特定事業の名称

変更前	変更後
<u>707</u> 特定農業者による <u>濁酒</u> の製造事業	<u>707 (708)</u> 特定農業者による <u>特定酒類</u> の製造事業

○ 別紙

1 特定事業の名称

変更前	変更後
<u>707</u> 特定農業者による <u>濁酒</u> の製造事業	<u>707 (708)</u> 特定農業者による <u>特定酒類</u> の製造事業

4 特定事業の内容

(2) 事業が行われる区域

変更前	変更後
奥州市の区域の一部（ <u>江刺区、胆沢区、衣川区</u> ）	奥州市の区域の一部（ <u>水沢区、江刺区、胆沢区及び衣川区</u> ）